

ふるさと応援団 木島平会会報

福寿草まつりが開催されました

3月28日から3日間にわたり、原大沢地区の御魂山公園では、福寿草まつりが開催されました。今年は暖冬の影響で雪も少なく暖かかったことから、例年より早い開花を迎えました。一時は直前に降った雪で開催も危ぶまれましたが、そんな関係者の心配をよそに福寿草たちは雪の中から元気な姿を見せてくれました。

御魂山公園は、荒廃化が進んでいましたが、僅かに残った福寿草を絶やさなため、平成8年に原大沢地区でボランティア組織（現在の御魂山公園を愛する会）を発足し、雑木や下草刈りなどの里山整備を行い福寿草の維持管理に努めてきました。今では、約1万平方メートルの福寿草群生地となり、春には多くの観光客が訪れ、地域の活性化と交流人口の拡大に貢献しています。



▲雪の中から顔を出す福寿草

ふるさと木島平と私 藤島群平

昭和42年から43年頃の冬、長男を連れて帰郷の折、広々とした木島平スキー場で長男を背負ってたっぷり滑りました。その頃はまだ、リフトは少なくスキー客も少なくて静かでした。その何年か後に勤務先の仲間を20人から30人連れて3回ほど行きましたがリフトや旅館なども次第に充実し、スキー場も混んできました。最近はお客様が減少していると伺いましたが、昔のように賑やかになってほしいですね。

昭和47年頃ですが、帰郷すると樽川へ岩魚を釣りに出かけました。樽川は子ども頃の頃からの夏の遊び場で、水面とヤスでカジカを一日30匹以上捕ったり、暑い日は川石と葦などでプールを作り泳ぎました。清流は冷たく唇が紫色に変わると大急ぎで太陽に温められた近くの大石に腹這いになって体を温めて、また川に飛び込むというまあ母なる川といったところでした。

私が中学三年生の秋に下高井郡の野球地区大会があり、近在五校と対抗試合をしました。特に思い出深いのは対往郷中学戦で、この試合私はサードを守り何点かリードしているうちに満塁と攻められ一打逆転の危機でしたが、うまい具合にサードライナーがきたので補給してベースを踏み、すかさず一塁に投げて危機を脱しました。試合後、大柄で温厚な往郷中学の校長先生の講評があり「上木島チームの三重殺プレーがとてもよかったです。」とほめていただきました。そのことの思い出が私の宝物になっています。



☆区民の声☆ 元気な活動や自慢、今後の展望を紹介

中村区 地区のテーマ 新たな出会い (将来像) 和が広がる地域へ

中村区は170世帯中、一世代から三世代の世帯が全体の70%を占め、古さと新しさの混在する地域で、お互いの暮らしや考え方に差異が生ずることがあっても、互いの人権を尊重しあい、痛みを共有し合える地域づくりを目指しています。

今までの歴史ある伝統文化等の行事の一部は行われなくなったものの、現在は道祖神、秋祭り、区民球技大会、堰普請、道普請、区民祭、花壇整備、分館だよりの発行などの事業を行っています。6年前から融資による盆おどりが行われているほか、ボランティア作業が多く行われるようになりました。

区の行事には、子どもから大人まで幅広く関わられるということを考えて取り組み、暮らしやすい和の広がりをつくれるよう励んでいます。

多くの区民に出会うことにより、新たな発見、そして生きる喜びや生きる力をお互いに与えあうことができます。今後も新たな出会いを楽しみに頑張ります。



▲道祖神の様子

【お悔やみ】

会員の斉藤平治さん（94歳・埼玉県草加市）が4月8日、お亡くなりになりました。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

ふるさと木島平と私 丸山久夫

中島区での竹馬友の会「安童会」メンバーは10人程ですが、毎年開催しております。

「市神祭」の写真は半世紀振り、夏の日の思い出が蘇り、瑞穂神社の祭礼、夏休み樽川での水浴び、1月14日夜のどんと焼き等々、我が故郷ここにあります。

「食彩市場 たる川」

村の入口にある農産物・特産物の販売拠点として親しまれている農産物直売所「食彩市場たる川」の増築工事が終わり、3月29日にリニューアルオープンしました。売り場面積が増したことで、安全・安心な木島平村の農産物や特産品がこれまで以上に安定して供給することができるようになりました。お近くへお出かけの際は是非お立ち寄りください。



【事務局】4月1日付けの人事異動に伴い、事務局の体制が変わりました。今後ともよろしく願います。

- 総合政策課長 小林広明
- 企画財政係長 竹原雄一
- 企画財政係 岡田孝夫（担当）